

1. 用語解説

あ

●IoT

モノのインターネット（Internet of Things）の略で、身の回りの“モノ”がインターネットにつながり、データの収集や制御を行う仕組みのこと。

●ICT教材

教科書や副教材の内容をデジタル化し、電子黒板やスクリーンに表示して授業をしたり、生徒がタブレット型端末で読んだりできるようにしたもの。

●歌志内市公営住宅等長寿命化計画

将来における公営住宅等の適正な管理戸数を決定し、老朽化した公営住宅等ストックの効率的かつ円滑な更新を図り、安全、安心な住宅供給と長期的活用を図ることを目的に策定した計画。

●歌志内市子ども・子育て支援事業計画

子育て支援に関する施策の基本的方向を示すものであり、住民、認定こども園、学校、事業者、関係団体、行政がそれぞれの立場において、子どもの育ちと子育て家庭の支援に取り組むための指針となる計画。

●歌志内市地域福祉計画

本市の地域福祉を推進する基本計画であり、行政・市民・関係団体などの連携による地域の支え合いによって、市民が地域の中で、安心して自立した生活を送ることができる「福祉のまちづくり」を実現することを目的とした計画。

●歌志内市都市計画マスタープラン

まちの将来像を実現するための土地利用や施設整備の方向性を示す計画。

●歌志内市立地適正化計画

今後の人口減少などの中で、持続可能で安全・安心して暮らせるコンパクトなまちづくりを進めるための方針や施策を定める計画。

●SNS

ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。

か

●関係人口

移住者でも観光客でもなく、地域と多様に関わる人々のこと。

●カーボンニュートラル

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を、植林や森林管理などによる吸収量と差し引いて、実質的にゼロにすること。

●居住誘導区域

人口減少のなかにあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域。

●共助

行政による「公助」や自分自身で守る「自助」に対し、地域や住民同士が助け合うこと。

●健康寿命

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。

●後期高齢者

高齢者を65歳以上とする場合、高齢期を前・後期2段階に区分し、75歳以上を後期高齢者としている。

●広報モニター（広報モニター制度）

市が発行する広報紙に関し、市民からの意見を積極的に聴き、紙面づくりに反映させるために設ける制度のこと。

●国民保護計画

国民保護法に基づき指定行政機関、都道府県、市町村が策定しなければならない国民の保護に関する計画。

●子育て支援センター

地域における子育て支援の総合的拠点として、保育機能に加え、子育てサロンをはじめとするさまざまな子育て支援に関するサービスを提供する施設のこと。

●財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、財政力指数が高いほど、財源に余裕があるといえる。1.0未満は国からの財政支援に依存していることを意味する。

●自治体フロントヤード改革

マイナンバーカードを活用した自治体と住民との接点の多様化・充実化、窓口業務の改善などを通じて、住民の利便性向上と職員の業務効率化を図ること。

●実質公債費比率

地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。

●シティプロモーション

地域の魅力を内外に発信し、その地域へヒト・モノ・カネを呼び込み地域経済を活性化させる活動のこと。

●循環型社会

環境への負荷を小さくするため、資源リサイクルなどを推進し、人間の活動により生じる物質を自然界の中で循環できるようにする社会のこと。

●ゼロカーボンシティ

2050年にCO₂（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らがまたは地方自治体として公表した地方自治体のこと。本市では、令和5年3月9日、令和1年第1回定例市議会の市政報告において、市長が「歌志内市ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。

●生活習慣病

悪性新生物・心疾患・脳血管疾患など、不適切な食事や運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣に起因すると考えられる病気のこと。

●Society 5.0

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。

た

●ダイバーシティ

異なる背景や特性を持つ個人が共存し、その違いを尊重し合うこと。

●地域コミュニティ

居住地域を同じくしている共同体のこと。「地域社会」

●地域包括ケアシステム

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域住民に対し、保健、医療及び在宅ケア、リハビリテーション等の介護を含む福祉サービスを、関係者が連携・協力して、一体的・体系的に提供する仕組みのこと。

●地域防災計画

災害対策基本法（第40条）に基づき、各地方自治体（都道府県や市町村）の長が、それぞれの防災会議に諮り、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めたもの。

●地方公共団体の財政の健全化に関する法律

地方公共団体の財政の早期健全化、財政の再建、公共企業の経営健全化を目的とする法律のこと。平成19年6月に制定され、地方公共団体は、実質的な赤字や将来負担などを示す健全化判断比率（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）と、各公営企業の資金不足比率を毎年度公表することが義務付けられている。財政悪化が比較的軽度な場合は財政健全化団体に指定され、外部機関による監査を受け、財政健全化計画を策定し、自助努力で健全化に取り組む。悪化が深刻で破綻状態とみなされる場合は財政再生団体（以前の財政再建団体）に指定され、国の管理下で財政再建を目指すことになる。

●DX

デジタル・トランスフォーメーション（Digital Transformation）の略で、デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会制度や組織文化なども変革していくような取り組み。

な

●認定こども園

就学前の子どもに幼児教育・保育を提供するとともに、地域における子育て支援を備える施設のこと。幼保連携型・幼稚園型・保育所型・地方裁量型と4つのタイプがあるが、本市は、幼稚園及び保育所等の施設・設備が一体的に設置、運営されている幼保連携型である。

●ノーマライゼーション

障がいのある人もない人も、地域の中で同じように生活を営める社会が普通の社会であるという考え方のこと。

は

●パブリックコメント

広く公に（＝パブリック）、意見・情報・改善案など（＝コメント）を求める手続きのこと。

●PDCA

業務を効果的・効率的に行うための手法の一つ。計画（Plan）、推進（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）の4つのステップからなる。

●防災マップ（ハザードマップ）

自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもので、予測される災害の発生地点や避難経路、避難場所などの情報が地図上に図示されている。

●ホスピタリティ

観光などで訪れる人たちに対し、受入れ側の人々が気持ち良く接し、好ましい印象を与えるなど、再び訪れたいくなるような心のこもったもてなしのこと。

や

●UIJターン

Uターン（生まれ育った故郷から都会へ移住した後、再び生まれ育った故郷に移住すること）、Iターン（故郷とは別の地域に移住すること）、Jターン（生まれ育った故郷から都会へ移住した後、故郷にほど近い地方都市に移住すること）という3つの移住形態の総称のこと。

●幼保小接続期

幼児教育（幼稚園、保育所、認定こども園）から小学校教育への移行期間のこと。

ら

●露頭掘り

地表近くの鉱物を掘り出す採掘方法のこと。

わ

●ワークショップ

さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場のこと。

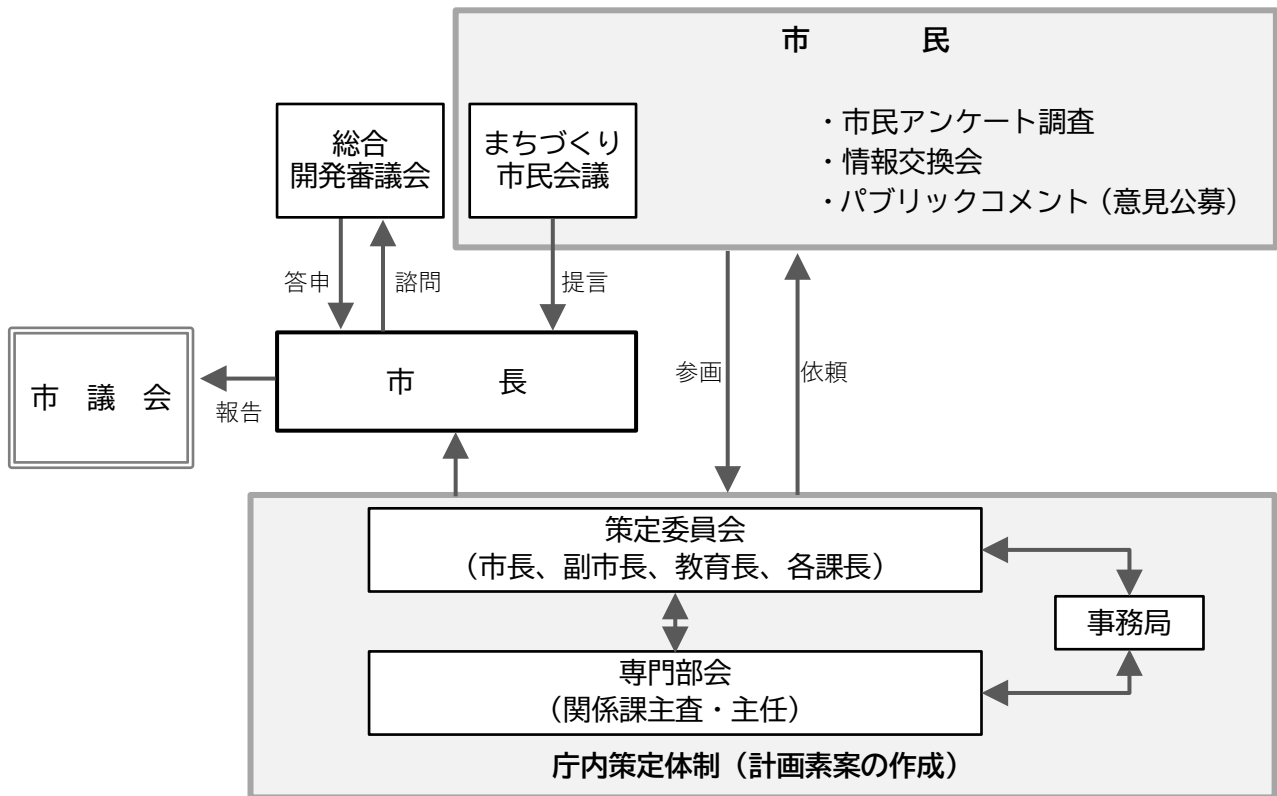
2. 策定経過

市民：市民参画 議会：市議会 庁内：庁内検討会議

令和7年 3月 5日	庁内	総合計画・総合戦略策定委員会（第1回）
4月 1日～	市民	「まちづくりに関する意識調査（市民・歌志内学園生徒アンケート）」
5月26日	庁内	専門部会・合同部会（第1回）
5月29日	市民	まちづくり市民会議（第1回）
6月11日	市民	まちづくり市民会議（第2回）
6月25日	市民	まちづくり市民会議（第3回）
7月11日	市民	まちづくり市民会議（第4回）
7月22日	市民	まちづくり市民会議による「提言書」市長への手交式
7月23日	庁内	専門部会・合同部会（第2回）
7月29日	議会	行政常任委員会
8月29日	庁内	総合計画・総合戦略策定委員会（第2回）
11月20日	庁内	専門部会・合同部会（第3回）
12月23日	庁内	専門部会・合同部会（第4回）
12月25日	庁内	総合計画・総合戦略策定委員会（第3回）
12月26日	市民	まちづくり講演会
令和8年 1月 8日	庁内	総合計画・総合戦略策定委員会（第4回）
1月16日	市民	総合開発審議会（第1回） ・総合計画第7次基本構想及び前期基本計画（案）、 第3期総合戦略（案）について（諮問）
1月21日	市民	総合開発審議会（第2回）
1月22日	市民	総合開発審議会（第3回）
1月28日	議会	行政常任委員会
1月29日	市民	総合開発審議会 ・総合計画第7次基本構想及び前期基本計画（案）、 第3期総合戦略（案）について（答申）
1月29日	庁内	総合計画・総合戦略策定委員会（第5回）（書面開催）
2月 3日～ 16日	市民	パブリックコメント
2月 9日	議会	第2回臨時市議会において提案
2月 9日～ 20日	議会	議案第5号審査特別委員会開催（計4回）
3月10日	議会	第1回定例会において報告可決

3. 策定体制

1. 策定体制



策定体制の概要

	会議名等	概要
市民	総合開発審議会	諮問機関、市内有識者で構成
	まちづくり市民会議	計画の将来像・施策等の検討、市内関係団体、高校生、公募で構成
	市民アンケート	市民意向の把握 ・市民（15歳以上1,500名（各年代別に無作為抽出）） ・職員（市役所・教育委員会・病院・消防・こども園等） ・歌志内学園7～9年生
	情報交換会	市民意向の把握、連合町内会との意見交換等
庁内	策定委員会	市長、副市長、教育長、各課長で構成
	専門部会	まちづくり市民会議の出席・進行、計画の将来像・施策等の検討、主査・主任クラスの若手主体で構成
	魅力ある産業・雇用とDX推進部会	主なテーマ：産業・雇用／まちづくりDX
	オンリーワンの快適なまちをつくる部会	主なテーマ：移住・定住／出産・子育て／コンパクトなまちづくり

1. 諮問

7企広 第 52 号
令和 8 年 1 月 16 日

歌志内市総合開発審議会
会長 澤田 季孝 様

歌志内市長 柴田 一孔



歌志内市総合計画第7次基本構想・前期基本計画（案）及び
第3期歌志内市総合戦略（案）について（諮問）

歌志内市総合開発審議会条例第2条の規定に基づき、次のとおり貴審議会の意見を求めます。

記

諮問事項

1. 歌志内市総合計画第7次基本構想・前期基本計画（案）について
2. 第3期歌志内市総合戦略（案）について

I・基本構想

II・前期基本計画

III・計画の推進に向けて

付属資料

2. 答申

令和8年1月29日

歌志内市長 柴田一孔様

歌志内市総合開発審議会
会長 澤田季孝



歌志内市総合計画第7次基本構想・前期基本計画（案） 及び第3期歌志内市総合戦略（案）について（答申）

令和8年1月16日付け7企広第52号により諮問のあった「歌志内市総合計画第7次基本構想・前期基本計画（案）」及び「第3期歌志内市総合戦略（案）」の策定について、当審議会において慎重に審議した結果、第7次基本構想・前期基本計画（案）及び総合戦略（案）の内容は、概ね妥当であると判断いたしました。

なお、本計画の推進にあたっては、以下の事項について十分配慮され、市民ニーズに即した施策を推進することはもとより、まちの目指す姿として掲げる「主役はみんな “きょうどう” でつながる 笑顔あふれるまち」の実現に、着実に取り組まれるよう期待いたします。

記

1. 人口減少が進み、高齢化率が半数を超える状況にあっても、誰もが安心して暮らし続けられるまちを形成するため、市民一人ひとりがそれぞれ自分らしく、そして笑顔あふれ、幸せを実感できるまちづくりを目指す取り組みを着実に推進されたい。あわせて本市を訪れる方々にとっても安心して、居心地の良さを感じることができ新しい時代に対応したまちの魅力創出に向け取り組まれたい。
2. 厳しい財政状況にあっても現代社会や本市にあった施策については、目標達成のため、優先順位を考慮したうえで、適切な予算を割り当てながら実施し、実施後にはしっかりと効果検証を行うなど、計画の適切な進行管理に努められたい。
3. 市民、市民団体、事業者等の多様な主体と行政が連携し、本計画に基づく政策・施策を実施していく必要があるため、本計画を共有できるよう、計画内容は多くの市民へわかりやすい周知を図られたい。

3. 歌志内市総合開発審議会委員名簿

(敬称略)

区分	機関・団体名	職・氏名
商工団体 (鉱業事業関係者含む)	歌志内商工会議所	副会頭 加藤 安昭
	空知炭礦株式会社	取締役副社長 ○ 土肥 隆則
労働団体	連合北海道歌志内地区連合会	会員 山川 裕正
社会福祉団体	社会福祉法人	理事 荒岡 宏明
	歌志内市社会福祉協議会	
婦人団体	歌志内市婦人会連絡協議会	理事 山川 凉子
町内会連合会	歌志内市町内会連合会	副会長 ◎ 澤田 季孝
まちづくり団体	歌志内なまはげの会	会長 工藤 孝司
	歌志内市郷土館支援組織	会長 三戸 満雄
学識経験者	歌志内市校長会	会長 富樫 孝行

◎会長 ○副会長

任 期 : 令和7年6月1日～令和9年5月31日までの2年間

4. 歌志内市まちづくり市民会議委員名簿

(敬称略)

No.	推薦団体名等	氏名
1	歌志内商工会議所	○ 山中 隆志
2	空知炭礦(株)	中川 竜一
3	歌志内市校長会	富樫 孝行
4	北門信用金庫歌志内支店	渡邊 佳奈
5	歌志内郵便局	井上 学
6	連合北海道歌志内地区連合会	平川 隆二
7	歌志内市社会福祉協議会	◎ 塚田 和征
8	歌志内市婦人会連絡協議会	長塩 慶子
9	歌志内市町内会連合会	大屋 功
10	歌志内建設協会	加藤 孝一
11	歌志内市スポーツ協会	高橋 君江
12	公募委員	遠藤 沙紀
13	公募委員	田村 亜耶
14	公募委員	三井 郁弥
15	公募委員	近野 航
16	公募委員	加賀 聡史
17	公募委員	田村 悠
18	公募委員	米川 理依子

◎委員長 ○副委員長

4. 主な個別計画

令和7年度現在

歌志内市総合計画（第7次基本構想・基本計画）	第3期歌志内市総合戦略	令和8年度～令和12年度	
	歌志内市過疎地域持続的発展市町村計画	令和8年度～令和12年度	
	歌志内市強靱化計画	令和3年度～	
	【基本目標1】 安全で持続的 なまち	歌志内市公共施設等総合管理計画	令和4年度～令和13年度
		歌志内市都市計画マスタープラン	令和3年度～令和22年度
		歌志内市立地適正化計画	令和4年度～令和22年度
		国土利用歌志内計画	昭和56年度～
		歌志内市住生活基本計画	令和6年度～令和15年度
		歌志内市公営住宅等長寿命化計画	令和6年度～令和15年度
		歌志内市森林整備計画	令和5年度～令和15年度
		歌志内市一般廃棄物処理基本計画	平成15年度～
		歌志内市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	令和元年度～令和12年度
		歌志内市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	令和7年度～令和12年度
		歌志内市橋梁長寿命化修繕計画	令和4年度～令和14年度
		歌志内市下水道事業経営戦略	令和7年度～令和16年度
歌志内市地域防災計画		昭和38年度～	
歌志内市国民保護計画		平成19年度～	
歌志内市交通安全計画	令和3年度～令和7年度		
歌志内市鳥獣被害防止計画	令和6年度～令和8年度		
【基本目標2】 健康で 幸福を感じる まち	歌志内市地域福祉計画	令和4年度～令和8年度	
	歌志内市健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画 （健康うたさない21）	令和6年度～令和17年度	
	歌志内市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	令和6年度～令和8年度	
	歌志内市障がい者計画	令和6年度～令和11年度	
	歌志内市障がい福祉計画	令和6年度～令和8年度	
	歌志内市立病院経営強化プラン	令和6年度～令和9年度	
	国民健康保険データヘルス計画 特定健康診査等実施計画	令和6年度～令和11年度	
【基本目標3】 笑顔あふれ 未来につなぐ まち	歌志内市子ども・子育て支援事業計画	令和7年度～令和11年度	
	歌志内市社会教育中期計画	令和4年度～令和8年度	
	歌志内市子どもの読書活動推進計画	令和4年度～令和8年度	
	歌志内市教育施設長寿命化計画（学校施設）	平成31年度～	
【基本目標4】 魅力を育み伝える まち	歌志内市観光振興計画	令和5年度～令和10年度	

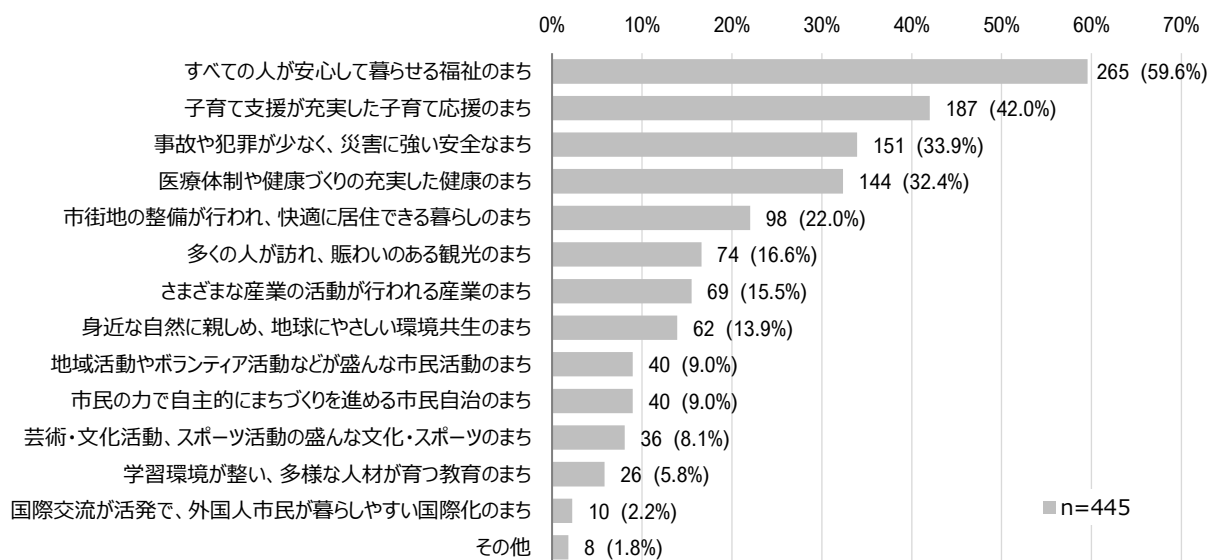
5. 基本理念【目指すまちの姿】の市民意見

1. 将来の歌志内市のイメージとしてふさわしいと考えるもの（市民アンケート）

将来の歌志内市のイメージとしてふさわしいと考えるもの（複数回答）は、「高齢者や障がい者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち」が 59.6%で最も高く唯一半数を超えています。

以下、「子どもを安心して生み育てられる子育て支援が充実した子育て応援のまち」が 42.0%、「事故や犯罪が少なく、災害に強い安全なまち」が 33.9%などとなっています。

年齢別にみると、20歳未満と50歳代以上は「高齢者や障がい者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち」が最も高く、20歳代～40歳代では、「子どもを安心して生み育てられる子育て支援が充実した子育て応援のまち」が最も高くなっています。



1. 将来のまちの姿を一言で表すキャッチフレーズ（将来像）（学園生徒アンケート）

10年後の歌志内市の理想とする、歌志内市の将来像として、安全・安心、心、活気、自然、人口増加、都会に分類でき、さまざまなキャッチフレーズがみられます。

キャッチフレーズ（将来像）	
安全・安心（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせる歌志内市 ・安心安全・うたしない ・安心安全 UTASHINAI ・安心安全歌志内！！ ・安全第一歌志内。 ・安全第一歌志内。だいいちうたしない
心（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな歌志内市 ・みんなで笑顔 ・小さな光の歌志内
活気（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・歌志内アイドルが居る町 ・活～よりよい歌志内にするために～ ・活気あるまち歌志内
自然（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かなまち ・緑豊かな歌志内市
人口増加（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が多い歌志内 ・人口増加率 50%！！
都会（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・大都会 ・都会に近い町

2. まちづくりの将来像（まちづくり市民会議）

次期歌志内市総合計画及び第3期歌志内市デジタル田園都市国家構想総合戦略策定に向けて、今後の歌志内市のまちづくりを進めるなかで、市民一人ひとりが目指す「まちづくりの将来像」については、主に以下の意見が出されました。

まちづくりの将来像	
暮らしやすさ・市民や来訪者が楽しめる	(例) ・くらしたいまち ・市民が笑顔になれるまち ・市民の一人ひとりが生きがいを持てるまち ・心豊かになる歌志内 ・ほっとできるまち ・交流機会の多いまち ・活気のある歌志内
自然環境の維持と安全・持続性	(例) ・災害に強いあんしんに住めるまちづくり ・ストーリーのあるまち
子どもの過ごしやすさ	(例) ・市民全員で“宝（子ども）”を育て、笑顔あふれるまち ・学びを深めて社会で活躍していけるまちづくり
安心して暮らし続ける	(例) ・健康のまち ・子育てが安心してできるまち ・互いに助け合い、困難に立ち向かえるまちづくり ・病気になっても安心なまち ・移動手段の豊かなまち
産業の充実と利便性	(例) ・市内の企業が増え、多様な会社が活動するまち ・不便を感じないまち

3. 目指すべきまちの姿（専門部会）

専門部会員は、まちづくり市民会議に参加し、市民と協働でワークショップを実施しました。まちづくり市民会議の内容を踏まえて、各部会で「目指すべきまちの姿」を検討しました。

魅力ある産業・雇用及びDX推進部会	オンリーワンの快適なまちづくり部会
自分らしさ全開 ～Smile sharing～	主役はみんな “きょうどう” でつくる “ほっと” なまち ～デジタルでもリアルでもつながる歌志内～
・子どもから大人まで活躍できる、自分が主役になれるまちで、市民が笑えるきっかけをつくり、幸せ共有できるようなまちを目指す。 ・目指すべき姿は、柔らかな言葉を選択	・みんな＝市民 ・きょうどう：協働（協力）、共同（共につくる）、協同（協力して同じ方向へ） ・ほっと：ほっとする、HOT、安心できる歌志内 ・デジタル：デジタルで便利に、市民（主役）がデジタルで宣伝 ・リアル：日本一人口が少ない市だからこそ顔の見えるまち

6. 将来像の実現に向けて必要な取組（まちづくり市民会議）

まちづくり市民会議（市民 18 名、計 4 回開催）では、大きく「まちづくりの将来像」と「将来像の実現に向けて必要な取組」についてワークショップを行いました。

「将来像の実現に向けて必要な取組」は、4 つの視点から以下が示されています。

将来像の実現に向けて必要な取組（まちづくり市民会議）

視点	必要な取組・概要			
A 観光・福祉など 歌志内の産業 について	観光 優先順位 1 +	取り組み ・市民による先生（ツアー）	効果 ・市民が主役 ・まちに愛着（愛情） ・市外からの興味関心が 増 ・交流人口（増）	誰が？ ・先生 →市民 ・情報提供（こんな人がいますよ!） →市民（町内会長など） ・ツアーパッケージに組み込む →ツアー会社 ・まとめる・窓口・情報収集 →役所
	福祉 優先順位 2	・困り事解消団体を立ち上げる （草刈・除雪など）	・高齢者が長く歌志内に住み続けられる	・お手伝いする人 →市内・外のボランティアをしたい人 （地域貢献をしたい人、企業・個人） ・お手伝いしてもらう人 →市内の高齢者 ・窓口 →役所or社協
<p style="color: red; font-weight: bold;">共通最終目標</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">歌志市内にこのような事業を行える組織が立ち上がること</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢になった時でも不安なく過ごせるまちづくりが重要、観光＋福祉の発展に取り組む。 ● 「市民が主役」の観光づくりを進める。（例：なんこの料理に詳しい、炭鉱の歴史に詳しい方のツアー） ● 観光に関われる可能性がある市民の情報は町内会長等と連携、市役所が取りまとめ ● 福祉では、例えば、草刈りや除雪・屋根の雪下ろし、電球交換など助けるボランティア団体を立ち上げ ● ボランティアは市内外の地域貢献をしたい企業や個人、対象は市内の高齢者であり、窓口は市役所や社協 				
B 歌志内の 将来デジタル まちづくりに ついて	2位（優先順位） デジタル人材発掘	3位（優先順位） デジタル活用による生活向上	1位（優先順位） 情報発信	
	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ・デジタル知識の普及 ・デジタルを身近なものに ・情勢のデジタル化推進 ・デジタルの担い手を確保 </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 行政、市民、地域おこし、 アドバイザー </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> ・地域おこしの採用【行政】 ・アドバイザーの確保【市民・行政】 ・学習機会の提供（参加型）【市民】 ・補助金活用 </div>	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ・人口増加 ・子育て環境の充実 ・健康の環境の充実 </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> ・人の募集をデジタルで （グループフォーム） ・健康観察をタブレットに ・人をつなげるものをデジタルへ ・教育（アナログの活用） </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ・魅力を伝える ・住みやすさがわかる ・地域外から来た人材を流入 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ・転入者、観光客 ・テレワーク ・子ども </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> ・テレワーク誘致 ～その人から情報発信～ ・子ども達を活用 ～インスタetc～ ・外部の人を巻きこむ （特産品の活用） ・電波環境を整える </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル化の実現に向けては、情報発信するための土台が第一であり、次にデジタル人材がいないとデジタルを活用できない。 ● 国の補助金等を活用して両方を整備したうえで、最後にデジタルを活用すると生活の向上が生まれる。 ● 電波が悪い等の状況では、デジタル化が難しいので、環境整備をすることで、テレワークや転入者等にきていただくことが可能となる。 ● デジタル人材発掘では、市民が市内に転入したデジタルに精通する方やアドバイザー、行政で採用した地域おこし協力隊等から学習し、それぞれが相互作用して市全体でデジタルを身近にすることが大切です。 ● デジタルを活用することによって、人口増加、子育て環境の充実、健康の環境充実が効果として挙げられます。 				

視点	必要な取組・概要
<p>C</p> <p>市民の幸福度の向上につながるまちづくりについて</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">健康</p> <p>〈方向性〉死ぬまで現役！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔、笑い→心 ・社会的に幸せ（頼られる、やりがい） ・動く ・歌う </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">イベント</p> <p>〈方向性〉楽しいきっかけをつくるため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・歌志内でしかできないオリジナル性 ・音楽祭 ・昔遊び ・スタンプラリー ・高齢者の活躍できる機会 ・お手伝い会社（有料） </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">アンケート</p> <p>〈方向性〉幸福の価値観の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな事ができる人がいるのか（をやっていただけ・協力なのか） ・やりたい事 ・やってほしい事 ・コロナ前の復活してほしいイベント・企画 ・市民のアンケートを集める七夕（匿名）とクリスマス（年2回） </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>□市民 → 知恵と経験の提供 ボランティア団体</p> <p>□行政 → 場所の提供 市、学校、社協、こども園</p> <p>□双方</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●健康がまず第一にあり、そこから幸せな気持ちを考えられる状況になる。 ●死ぬまで誰かと社会に接している状況で、笑顔があること、健康で「死ぬまで現役！」が幸福の基盤になっている。 ●自分だけではなくみんなが幸せであることが大事であり、アンケートによって、市民一人ひとりの幸福を確認することが大切である。 ●イベントは、市民が笑えるきっかけを作ったり健康づくりのきっかけを作ることができる。 ●市民が主体でありつつ、行政が手助けするようなサポートの形が理想である。
<p>D</p> <p>子どもも高齢者も誰もが歌志内に住み続けてもらうためのまちづくりについて</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>① 市民ボランティア</p> <p>② 買い物支援 市民保育 簡易 シルバー 人材 センター</p> <p>③ 空家の リノベーション</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">SNS</p> <p>治安が良いまち 空家の流通強化 デイサービス 利用促進 あいさつ運動</p> </div> <div style="flex: 1;"> <p>方向性① 利便性の高いまちづくり</p> <p>方向性② 人と人とのつながりが強いまちづくり</p> <p>方向性③ コスパのよいまちづくり</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●「利便性の高いまちづくり」「人と人とのつながりが強いまちづくり」「コスパのよいまちづくり」の3つで進めることが重要。 ●歌志内市は財源が限られており、人口減少も進むなかで、費用対効果を重視することが必要であり、SNSを使って住み続けてもらうための情報発信に活用することが効果的 ●以下に示す具体的なまちづくりは、3つの方向性のそれぞれが合わさり総合効果を生む。 <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・買い物支援 <li style="width: 50%;">・子育てカフェや地域カフェ（市民保育） <li style="width: 50%;">・空き家のリノベーション <li style="width: 50%;">・デイサービスの利用促進 <li style="width: 50%;">・簡易的なシルバー人材センター <li style="width: 50%;">・あいさつ運動

I・基本構想

II・前期基本計画

III・計画の推進に向けて

付属資料